

第6学年 国語科学習指導案

日時：平成26年10月10日(金) 6校時
児童：6年2組 男10名 女13名 計23名
指導者：山崎 佐和子

【研究主題】ふるさとの復興を担う「人づくり」の展開 ～「自分から」かわり、学びを深める児童の育成～

大震災の日、私は山田の小学校に勤務し2年生を担当していた。強い揺れがあり、みんなで避難場所に避難した。30分程して、今度は、家が動くのが見えた。波が、家押し流していた。波は校庭を満たし、さらに、私達が逃げた通路を上ってきた。私達はさらに上へ上へと逃げた。夜になり、無事だった校舎で過ごすことになる。その日のうちに、おにぎりが届く。米も届く。次の日は朝早くから、PTAのお母さんたちが中心となり、てきぱきとおにぎり作りが始まった。もちろん家を流された人たちが。また、家が無事でも、遠い人は4キロ先から自転車でかけつけていた。家がなくても、つりも畑もできるからと笑って話す。日々みんな生きること一生懸命だった。

本学級の児童は、震災時2年生であった。家を流された子もあり、嫌な記憶として震災の爪痕が深く残っている児童もいる。また、自分の気持ちを素直に表現することが苦手な子も多い。

本単元では宮沢賢治作品を読み、読み取ったことをポストカードにする。ポストカードは、10年後の自分に向けて作成する。賢治は自然に向き合い人のために尽くした人だ。苦しい中にも楽しさを見つけ、工夫することに喜びを感じることは、今の復興教育の考え方に通じる。また、その意思是、作品からも伝わってくる。この単元を通して、優れた叙述をじっくり味わわせたり、伝記と重ねて読むことで、復興につながる賢治の生き方に気づいたりさせていきたい。さらに、作品に込められたメッセージを10年後に生きる自分へ発信していきたい。

1 単元名 ～作品の世界を深く味わい、10年後の自分に復興の想いを届けよう～

教材名 「やまなし」 資料名 「イーハトーブの夢」

2 単元の構想

(1) 学習指導要領に示されている指導目標及び内容との関連

○目標 (C読むこと)

第5学年及び第6学年の目標及び内容

(3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。【C読むこと】

○内容

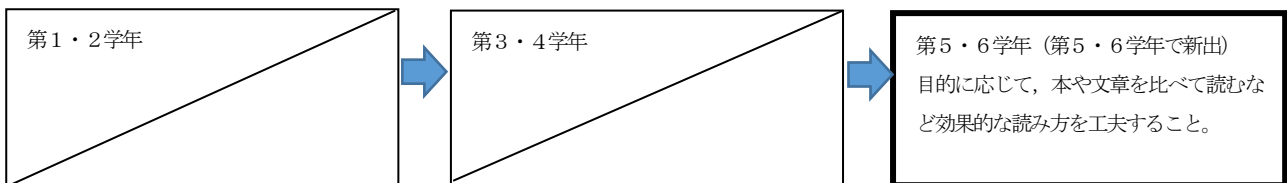
①指導事項 ②言語活動例 本単元を貫く言語活動

- ① イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。
カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。
- ② エ 本を選んで推薦の文章を書くこと。

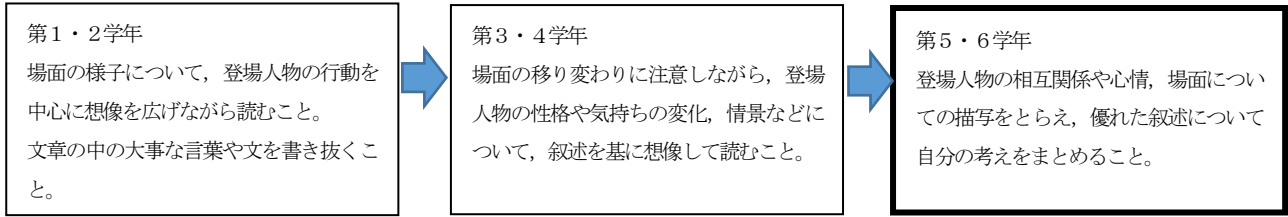
ポストカードを作ることを通して、作品の世界を深く味わう

○学習の系統

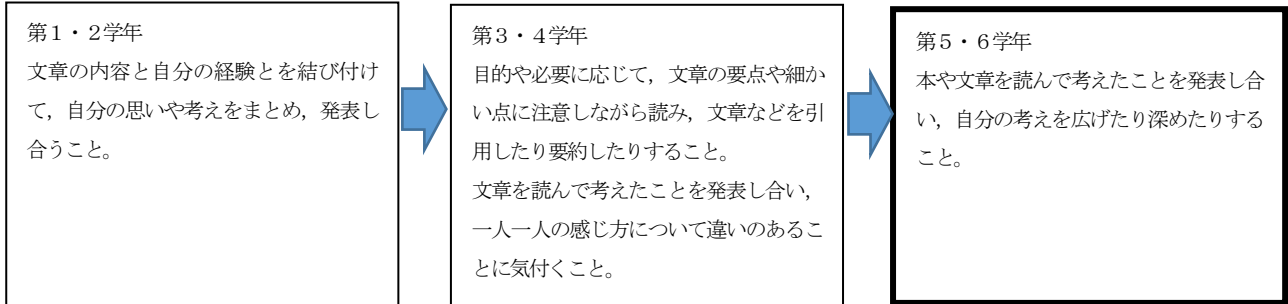
<読むこと 効果的な読み方>



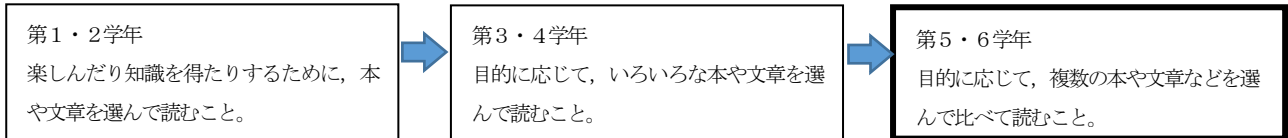
<読むこと 文学的な文章の解釈>



<読むこと 自分の考えの形成及び交流>



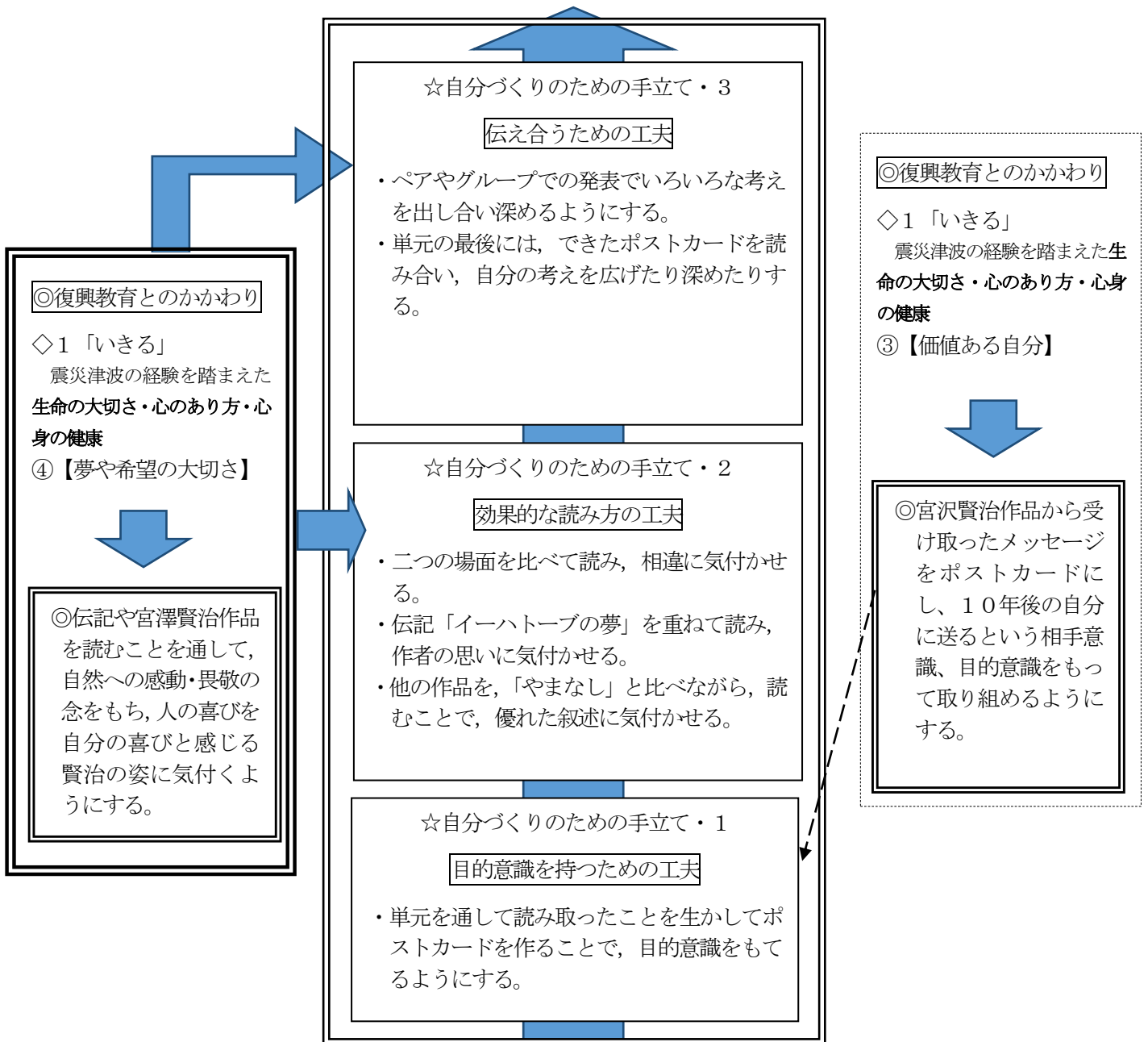
<読むこと 目的に応じた読書>



(2) 単元構想図

◎本校の復興に向かう合言葉 = 「自分から」

《本単元で目指す子どもの姿》
【自分づくり～伝え合う～】
ポストカード作りを通して、作品の世界を味わう子



【児童の実態】

- 登場人物出来事、言動などをしっかりと読み取れる児童が多い。
- お話の構成を考えることができる児童が多い。
- 読書量、質に偏りがある。
- 賢治作品を読んだことがある児童、賢治について知っている児童が少ない。また、岩手県出身の作家についての知識が少ない。
- 友だちの意見に同調してしまう。

【学習材について】

本教材は、岩手出身の作家宮沢賢治の作品であり、岩手に生きる児童達にとって入りやすい教材と考える。また、苦しい中でも工夫して喜びを見付ける賢治の考え方は、震災を経験した児童達が共感できるものではないか。「やまなし」の2つの場面を比べたり、伝記「イーハトーブの夢」と重ねて読んだり、他の作品に広げたりすることで読み深めることができる教材でもある。

また、復興教育に関わって、震災を経験した児童は、賢治の考え方に触れ、復興についてもさらに考えを深めることができるだろう。

(3) 単元の目標

＜国語への関心・意欲・態度＞

○賢治の作品に興味をもち、読もうとしている。

＜読むこと＞

○場面の様子をとらえて、優れた叙述に気が付いている。

○二つの場面を比べて読み、作品の特徴や作者の思いをとらえている。

○他の本や文章と比べて読んで、作者のものの見方や考え方について考えている。

○本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを深めている。

＜言語についての知識・理解・技能＞

○物語の構成について意識をもっている。

○物語を読んで、語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。

○比喩などの表現上の特色について意識している。

3 指導と評価の計画（9時間扱い）

次	時	主な学習活動	国語科のねらい	評価規準（評価方法）	復興教育のねらい
1	1	・宮沢賢治作品に触れる。 ・学習課題を確認し、学習計画を立てる。	○宮沢賢治作品の興味をもち読むことができる。 ○学習課題を立て、学習の見直しを持つことができる。	【関】 宮沢賢治の複数の作品を読もうとしている。（観察）	◎宮沢賢治作品から受け取ったメッセージをポストカードにし、10年後の自分に送るという相手意識、目的意識をもって取り組めるようにする。 （ノート、発言） ③【価値ある自分】
	2	・「イーハトーブの夢」を読み、賢治の生き方について、年表等にまとめる。	○賢治の生き方をまとめることができる。	【読】 賢治の生き方を読み取っている。（ノート、発言）	
2	3	・全文を音読し、場面を分ける。	○「やまなし」の構成に気づくことができる。	【言】 「やまなし」の場面を分け、構成を考えている。（ノート、発言）	
	4・5	・「五月」の谷川の様子を読む。 ・「十二月」の谷川の様子を読む。	○「五月」と「十二月」の情景を想像することができる。	【読・言】 擬声語や擬態語、比喩表現、色などに着目して情景を読み取っている。（ノート、発言）	
	6	・「五月」と「十二月」の違いについて、感じたことを交流する。	○「五月」と「十二月」を比べて読み、違いを考えることができる。	【読】 読み取った「五月」と「十二月」の様子を比べて、似ていることや違うことを考えている。（ノート、発言）	
	7（本時）	・賢治の生き方や考え方を話し合い、「やまなし」のメッセージをまとめる。	○「イーハトーブの夢」から読み取った作者の生き方や考え方と関連づけて、「やまなし」を読み深めることができる。	【読】 作者の生き方や考え方と関連づけながら、「やまなし」を読み深めている。（ノート、発言）	○自然への感動・畏敬の念を持ち、人の喜びを自分の喜びと感じる賢治の姿に気付くようにする。 （ノート） ④【夢や希望の大切さ】
3	8	・「やまなし」「イーハトーブの夢」を読んで考えてきたことと、賢治の他の作品を読んで感じたことを関連づけて、ポストカードにまとめる。	○「やまなし」「イーハトーブの夢」での読み取りを生かして、他の作品を読み取ることができる。	【読】 賢治の生き方や考え方と関連づけながら、作品をとらえている。（カード） 【読】 宮沢賢治の他の作品を読んで、優れた叙述をとらえている。（カード）	

9	・ポストカードを交流する。	○賢治の作品についての自分の考えを深めることができる。	【読】自分の選んだ作品との相違を考えながら、発表している。(ノート)
---	---------------	-----------------------------	------------------------------------

4 本時の学習について

(1) 目標

○「イーハトーブの夢」から読み取った作者の生き方や考え方と関連づけて、「やまなし」を読み深めることができる。

(2) 評価規準 B おおむね満足

読む	作者の生き方や考え方と関連づけて、やまなしを読んでいる。(発言、ノート)	＜努力を要する児童への支援＞ ・前時までの板書を手がかりに考えさせる。
----	--------------------------------------	--

(3) 国語科の視点、復興教育の視点からの手立て

＜国語科の視点から＞	
ア	賢治の考え方や生き方を考えるときには、叙述を根拠にして話し合わせる。
イ	本時で考える賢治の人間像と前時までに「やまなし」から読み取ったことを重ねて、賢治が作品にこめたメッセージを考えさせる。
＜復興教育【自分づくり】の視点から＞	
ア	グループや全体での発表を取り入れ、お互いの考えを伝え合いながら深めていけるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動 (○主発問) ・期待する児童の反応	○教師の支援	◎評価 ◇目指す児童の姿
つかむ 5分	1 前時までの学習を想起する。 ○前の時間は、やまなしの2つの場面を比べて読みました。 2 本時の学習課題を確認する。 ○「やまなし」と伝記を重ねて読み、私達への賢治のメッセージを考えていきましょう。	○前時で読み取ったことを掲示しておく。 ○後の活動であるポストカード作りの際にも、生かすようにする。	◇掲示を参考に前時の学習を想起している。 ◇重ねて読むことを確認する。
伝記と重ねて作品を読み、作品のメッセージを考えよう。			
ふかめる 35分	3 「イーハトーブの夢」を読み、賢治の考え方や生き方を叙述をもとに話し合う。 ○賢治はどんな考え方や生き方の人でしょうか。 ・いねの心がわかる人間になれ →自然を大切にしたい ・人々が安心して田畑をたがやせるようにできないものか →人々のためを思う ・苦しい農作業の中に、楽しさを見つける。 →苦しくても前向きな人	○賢治の考え方や生き方が分かる叙述に線を引かせる。 ○発表するときは、叙述を根拠に離させる。	◇賢治の考え方や生き方を見付けている。

	<p>4 3で読み取ったことを生かして、「やまなし」が伝えたいメッセージをまとめる。</p> <p>○「やまなし」が伝えたいメッセージをまとめましょう。</p> <p>5 本時の学習をまとめる。</p>	<p>○前時までの板書を手がかりに考えさせる。</p>	<p>◎作者の生き方や考え方と関連づけて、やまなしを読んでいる。(発言, ノート)</p>
<p>ひろげる 5分</p>	<p>6 振り返りをする。</p> <p>○振り返りを書きましょう。</p> <p>7 次時の学習を確認する。</p> <p>○次の時間は、自分の選んだ作品で、10年後の自分にポストカードを作りましょう。</p>	<p>○観点に沿って書かせる。</p> <p>○学習計画を用いて次時の学習を確認する。</p>	

(5) 板書計画

